

卍（まんじ）（1983）

メディア 映画

ジャンル ドラマ エロティック

製作国 日本

色彩 Color

時間 103分

初公開日 1983/02/12

公開情報 東映セントラルフィルム

【解説】

谷崎潤一郎の同名小説を、馬場当が脚色し横山博人が監督。1964年に公開された増村保造版に続き二回目の映画化となる。樋口可南子と高瀬春奈の大胆なレズシーンが話題に。

現職刑事を夫に持つ柿内園子は、食器店で銀のスプーンを万引きしている現場を、OLの志藤光子に目撃されてしまう。事を公にしたい園子は求めに応じ、光子と関係を持つようになるが、徐々に自ら快楽を求めるようになっていった。夫の剛は自分と体を重ねようとしないう園子に疑いをもち、部下を使って妻を尾行させ、光子の存在を突き止める。園子と光子を問い詰める剛だったが、二人は関係を認めようとしないう。だがある日、園子は光子を家に連れ込み、男一人女二人の生活が始まるのだった。

【クレジット】

監督	横山博人
企画	伊藤俊也
	中西宏
プロデューサー	呉徳洙
	古知屋正裕
原作	谷崎潤一郎
脚本	馬場当
撮影	中島徹
美術	平賀俊一
編集	浦岡敬一
音楽	林光
助監督	天間敏宏
出演	原田芳雄
	樋口可南子
	高瀬春奈
	鹿内孝
	小山明子
	高月忠
	中島ゆたか
	梅宮辰夫